



ASAZORA  
あさぞらあさぞら  
ASAZORA

胎内市立中条中学校 <https://tainai-nakajo-jhs.edumap.jp/>

令和8年3月24日

第20号

☎ 0254-43-2761

教育目標「考える」

## 人生という大海原へ漕ぎ出すみなさんへ ～卒業式の式辞より～

校長 森谷 優子



本日、義務教育を終えたみなさんは、これから人生という大海原へと漕ぎ出します。

この水槽を人生の大海原に例えてみます。みかんは、今のあなた方です。どのみかんも浮いています。

これからみなさんは、自分を守ってくれたみかんの皮を捨て、代わりに「自由」を手に入れ、大海原へと進んでいきます。皮をむいたので軽くなります。軽くなったのに沈んでしまいました。

これまでの人生は、お父さんやお母さんをはじめご家族の方、そして、我々教職員が、みなさんのみかんの皮となり、様々なことからみなさんを厳しくも温かく守ってきました。

もちろん、みなさん自身も、未来の自分を支えるために、中学校三年間で様々な力を培ってきました。ただ今、卒業生のみなさんにお渡しした卒業証書は、その証です。あらゆる資質・能力、磨かれた心と鍛えられた体、そして、それらを獲得するために払われた努力、それらはやがてみなさん自身を守るみかんの皮となるでしょう。

さて、皮を捨てて自由を手に入れると、最初は、開放的で楽しい気持ちになるかもしれませんが。しかし、同時に自由は、寂しさや孤独感をもたらすでしょう。自由であるということは、開放的で楽しい一面と同時に、過酷で困難な一面があるということも忘れないでください。私自身も学生生活を終える時、それを痛感しました。

卒業生のみなさん、みかんの皮の如く、これからも自分を鍛え、努力してください。そして、いつか自分だけでなくみなさんも誰かを支え包み込む皮となってほしい、そう心から願っています。

もてる力をすべて出し、ぶつかり合い、称え合った体育祭、美しいハーモニーで、会場にいる人たちの心を震わせた合唱コンクール、市制施行二十周年記念式典で披露したハレルヤ、

新潟県、北信越、全国に、中条中学校の名前を轟かせた部活動等、私たちに感動を与えてきたみなさんならそれができると信じています。

自分たちがいかに手がかかる学年だったか、迷惑をかけたか、でも寄り添ってくれたことへの感謝を、大きな返事や合唱等、全身で伝え、卒業生は立派に巣立っていきました。最後の学活で担任にすがりつき号泣する生徒、担任への感謝の手紙を読み上げる生徒等、保護者の方も教職員も涙の感動的な、忘れられない一日となりました。



## 職員の退職・転出について

※令和7年度末の人事異動により、14名の教職員が転出します。

### 拠点校指導 佐藤 光 先生 ( )

10年前と同じく、再び在職1年での異動となりました。もっともっと中条中での学校生活を堪能させていただきたかったのですが、体育祭や合唱コンクール、総合学習でのさまざまな体験活動やイベント等で昔と変わらぬ熱量の高さを感じ、よき思い出となりました。またご縁があれば是非寄せてください。お願いします。大変お世話になりました。ありがとうございました。

### 病気休業 本間 英樹 先生 ( )

平成2年4月、中条中学校で教員生活をスタートしました。それから30年経って令和2年4月に2度目の中条中学校へ着任しました。この度、退職となりますが、最後の6年間、お世話になり、中条中学校は思い出深い学校となりました。たくさんの生徒、先生と出会い、保護者、地域の方々にお世話になりました。特に本当にありがとうございました。お世話になりました。

### 生徒指導主事 佐藤 学 先生 ( )

1年間という短い期間ではございましたが、皆様の温かいご理解とご協力のおかげで、子どもたちと向き合う充実した日々を過ごすことができました。皆様のご多幸を心よりお祈りいたしております。

### 教務主任 皆川 俊勝 先生 ( )

エネルギー溢れる生徒と先生、地域・保護者のみなさんに囲まれ、たいへん充実した4年間を過ごすことができました。初めての胎内市、初めての教務主任、初めてのソフトテニス部。大変なこともたくさんありましたが、みなさんのおかげで楽しく、充実した毎日を過ごすことができました。みなさんの活躍が聞こえてくることを楽しみに、異動先でも一生懸命頑張っていきたいと思えます。これからも皆さんのことを応援しています。大変お世話になりました。

### 3学年副任 松井 正伸 先生 ( )

1年間でしたが、大変お世話になりました。今年で退職をすることになりましたが、エネルギーにあふれる沢山の生徒に囲まれ、本当に特別な経験ができる素晴らしい仕事だと、最後にまた感じる事ができた1年でした。卒業生、そして在校生のますますの活躍を願っています。ありがとうございました。

### 3年2組担任 山崎 雅美 先生 ( )

毎年行われると思っていた体育祭・合唱コンクールがコロナ禍で中止が相次ぐ中、6年前に赴任した時から縮小やマスクをしながら行事が出来たこと、そしてコロナが落ち着いて行事がしっかりと行われるようになった6年間、毎年様々なドラマがあり、生徒の皆さんから多くの感動をもらったことが昨日のように思い出されます。次の学校はお隣の黒川中学校です。皆さんの活躍を見守り、応援しています。また地域の皆様、保護者の皆様、そして多くの卒業生の皆さん、大変お世話になりました。ありがとうございました。

### 1年2組担任 日比野 加奈子 先生 ( )

6年前、優しくパワーあふれる生徒に迎え入れてもらったことを今でも思い出します。保護者・地域の皆さんにも支えられ、充実した日々を過ごすことができました。本当にあっという間でした。ありがとうございました。皆様のご活躍を、これからも応援しています。

### 事務主任 渡辺 はるか さん ( へ )

学校行事や生徒会活動、部活動などに一生懸命そして楽しく取り組む生徒たちの姿に、たくさんの元気をもらいつつ、充実した3年間を中条中学校で過ごすことができました。保護者の皆様には学校事務への御理解と御協力をいただき感謝しております。大変お世話になりました。

### 養護教諭 小野 美夕 先生 ( へ )

5年前の着任後、中条中学校で産休・育休をとり、昨年度夏に戻ってきました。自分も母となり、保護者の皆様がお子さんをここまで大きく育てたことに尊敬の気持ちをより強く持つようになりました。日々を一生懸命に生きる生徒たちの姿から元気や感動をもらったお返しに、保健室に来るひとりひとりに、たくさんの愛情を注いできたつもりです。今後も地域住民として、中条中の生徒・卒業生・後輩の皆さんの活躍を見守っていきます。ありがとうございました。

### 支援4組担任 塚野 泰地 先生 ( へ )

大学を卒業し、初めての職場が中条中学校でした。元気の良い挨拶と桜が満開のなか、始まった3年前の4月。大きな期待と不安でいっぱいでした。ただ、何事にも全力で向き合い、挑戦する生徒の姿を見て、私も負けられないなという気持ちになりました。中条中学校の生徒と全力で、笑顔で学校生活を過ごすことができました。生徒の皆さん「愛される人」になってください。必ず味方はいます。100回失敗しても101回の挑戦をしてください。さらなる活躍と健康を祈っております。保護者の皆様、地域の皆様、3年間ありがとうございました。

### よれんすルーム担当 市橋 亜由美 先生 ( へ )

1年間という短い間でしたが、大変お世話になりました。生徒の皆さんと一緒に様々なことに取り組み、たくさんの感動を共有し、充実した日々を過ごすことができました。身も心も大きく成長していく姿に頼もしさとうれしさを感じました。これからも中条中学校の益々のご活躍を応援しております。保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。

### 支援部副任 高澤 慎 先生 ( )

3年生から(言葉の弾みですが)「3年間ありがとうございました」と感謝の言葉があり、短くも濃い半年間でした。私は海外の人と交流があります。中条中の生徒の中にも興味関心が広がり、英語はもちろんのこと韓国語、ドイツ語、そして手話ができる生徒がいたのはとても嬉しいことでした。胎内市や新潟県に留まらず、これからは是非世界に目を向けてください。

### 特別支援教育支援員 伊井 玲子さん ( へ )

中条中学校には支援員として7年間お世話になりました。いつも明るく元気な生徒さん達と一緒に勉強できて逆にパワーをもらい楽しい毎日でした。みんなの「ありがとう」の一言で一日幸せな気分になれました。4月からは乙中学校に勤めることになりましたが、みなさんの成長をこれからも応援しています。

### スクールサポートスタッフ 須貝 優子さん ( へ )

2年足らずの短い間でしたが、お世話になりました。生徒の皆さんが笑ったり悩んだりしながらも、困難にもチャレンジする姿を目の当たりにする日々でした。ふと気が付くと心も身体も急に成長していて驚かされました。皆さんの幸せを心からお祈りしています!

教職員皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



## 同窓会入会式

2月25日（水）、同窓会長 様をお迎えし、同窓会入会式を行いました。

同窓会長からは、みなさんもこれまで地域の方と活動することがあったと思うが、どこに住んでいても、将来、胎内市のことを思い出し、故郷に思いを寄せる人であってほしいという思いを卒業生にはなむけの言葉として贈られました。

## スタートダッシュに備えた0学期

3月9日（月）全校朝会で、中条中学校の0学期がスタートしました。これからめざす学校について、2年生の生徒会三役と総務が寸劇で語りました。

これからの新しい中条中学校の時代の幕開けを感じさせるすがすがしい朝になりました。

## 環境教育ワークショップ

3月13日（金）、イノカ（環境課題の解決に取り組むとともに自然のおもしろさを広める教育活動にも力を入れているベンチャー企業）や地域のENEOS Xplora の協力を得て環境教育ワークショップが行われました。

中条中学校では、昨年度より、地域のENEOS Xplora の協力も得ながら「まちづくり会社 中条中学校社」の安心安全まちづくり課の活動を進めています。今年度も生徒が地域の方に脱炭素社会について学んだことを基に提案を行いました。

### 1 ミッション1 海藻マスターになろう

クイズを通して、海藻の知識を学びました。

「①海藻は、世界中に何種類あるのか」

→海藻は世界中に 25,000 種類。その中で使われている海藻は 50~100 種類程度。 など

### 2 ミッション2 海藻のヒミツを調査せよ

3つの海藻（アオサ、コンブ、ワカメ）から1つを選び、アルコールを混ぜてすり潰していきました。海藻のにおいを確認したり、触ってぬめり確かめたりと、楽しく実験に参加していました。最後に、海藻をすり潰したことで変色したアルコールの液体をプラスチック容器に移し、暗室でUVライトを当てて見ると、赤色や紫色に光る様子を確認することができました。海藻の中にある光合成色素を確認することができました。

### 3 洋上風力発電の効果を学ぶ

①再生可能エネルギーでCO<sub>2</sub>削減につながる

②風車の土台で海藻養殖を行うことで、海藻がCO<sub>2</sub>を吸収しCO<sub>2</sub>削減につながる

③風車の土台が人工漁礁となり、豊かな漁場につながる

